

平成30年度予算概算決定額の概要

会計検査院所管の平成30年度予算概算決定額の総額は、17,501百万円であり、これは、前年度当初予算額17,271百万円に対し、230百万円（1.3%）の増額となっています。

（単位：百万円）

組織・項	平成29年度 当初予算額 (A)	平成30年度 概算決定額 (B)	対前年度 比較増△減 (B-A=C)	対前年度比率 (C/A)
				%
(組織)会計検査院	17,271	17,501	230	1.3
(項)会計検査院	17,172	17,418	246	1.4
(項)会計検査院 施設費	99	83	△17	△16.7

（注）四捨五入の関係で、合計等は必ずしも一致しない。

会計検査院は、会計検査機能を充実強化する施策として、次の4項目を重点事項としています。

1 検査体制等の充実強化

行財政の動向等に適切かつ機動的に対応した検査の充実等を図るための検査要員等の増員及び機構の充実強化を図ります。

(1) 検査要員及び検査支援要員の増員

教育・科学・スポーツに関する検査、決算・財政状況等の分析に関する検査、社会保障に関する検査などの検査需要の増大に対応するため、また、会計検査の支援体制を充実強化するため、調査官等30人の増員となっています。一方で定員合理化による削減が30人あるため、定員の増減はありません。

(2) 機構の充実強化

情報システムに関する検査活動支援、情報化推進等について一層の体制強化を図るため、上席情報システム調査官付として、統括情報システム調査官を設置します。

2 検査活動の充実強化

情報通信技術を活用した検査及び国内や海外の検査等に必要な経費として1,881百万円（前年度比1.8%減）を計上しています。

① 会計検査情報システム経費

情報通信技術を積極的に活用して検査業務の効率化及び事務処理の省力化・迅速化を図るために、決算の計数確認及び分析処理を行う決算確認システムの再構築に着手したり、府省共通システムを利用する府省等から提出される電子化された証拠書類等を利活用したりするなどの情報システム経費として1,146百万円（前年度比2.8%減）を計上しています。

② 検査旅費

国内における検査やODAの現地調査、在外公館及び海外に所在する事務所等の検査対象機関に対する検査等を実施するための旅費として493百万円（前年度比2.8%減）を計上しています。

③ 会計検査活動費

会計実地検査を厳正かつ円滑に実施するための資料収集に必要な経費、実地検査関係等経費として242百万円（前年度比5.5%増）を計上しています。

3 研究・研修体制の充実強化

検査活動に資する研究を推進するための調査研究経費として24百万円（前年度比8.2%増）及び検査対象機関の行財政や施策等の複雑多様化・専門化等に的確に対応するための人材育成経費として137百万円（前年度比2.0%減）、合わせて161百万円（前年度比0.6%減）を計上しています。

4 国際業務活動の充実強化

各国の会計検査院で構成する国際組織の理事国としての国際貢献、各国の会計検査院との検査能力向上のための情報交換及び会計検査に関する国際的協調の動向に対応する情報収集・発信を行うための経費として67百万円（前年度比7.4%増）を計上しています。